

平成30年度予算見積調書

課室名：文化振興課
 担当名：総務・財団担当
 内線：2878
 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B27	2020年東京五輪文化プログラム育成プロジェクト		一般会計	総務費	県民費	文化振興費	東京オリンピック・パラリンピック文化プログラム育成事業費	
事業期間	平成27年度～平成32年度	根拠法令	埼玉県文化芸術振興基本条例第7条及び第17条		宣言項目			
					分野施策	061349 文化芸術の振興		
1 事業の概要 オリンピックは、スポーツだけでなく文化の祭典でもある。 2020年東京大会は、埼玉県の魅力を世界に発信する好機である。 そこで、埼玉のこれまでの取組の特徴を活かし、演劇を中心とした芸術文化事業を実施する。 これにより、県内の芸術文化活動の促進と、埼玉の魅力を国内外にアピールする。 (1) 世界ゴールド祭2018 89,366千円 (2) 五輪文化プログラム検討 500千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 世界ゴールド祭2018 89,366千円 「1万人のゴールド・シアター2016」の成果を引き継ぐ「ゴールド・アーツ・クラブ」による公演を開催する。 また、高齢者参加の文化芸術に関する海外の先進的な取組を紹介するとともに、ワークショップなどにより実際の体験を通じて交流する。 イ 文化プログラム検討 500千円 本県の魅力を広く発信する文化事業の実施に向けて、有識者会議を設置し本県の資源を生かした効果的なプログラムを検討する。 (2) 事業計画 ア 世界ゴールド祭2018 グローバルに加速する高齢化という共通課題に対し、舞台芸術を通じて高齢者がいきいきと暮らしていく社会を目指し、演劇の公演、海外先進事例の紹介、シンポジウム等により、高齢者が舞台芸術に親しむ機会を創出・拡大するとともに、高齢者が舞台芸術で輝く様子を広く国内外に発信する。 平成27年度 高齢者による大群集劇の企画・構成 平成28年度 「1万人のゴールド・シアター2016」公演 平成29年度 前年度参加者による「ゴールド・アーツ・クラブ」結成、稽古 平成30年度 「世界ゴールド祭2018」開催 平成31年度 稽古等による群集劇成果の継承 平成32年度 「世界ゴールド祭2020(仮)」開催 イ 文化プログラム検討 有識者会議を開催する。 (3) 事業効果 ア 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における埼玉県の芸術文化のPRとなる。 イ 県民参加型の文化芸術活動の促進が図られる。 ウ 国内外からの来県者の増加が見込まれ、地域経済等の活性化が図られる。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	76,214						76,214	68,662
前年額	7,552						7,552	